

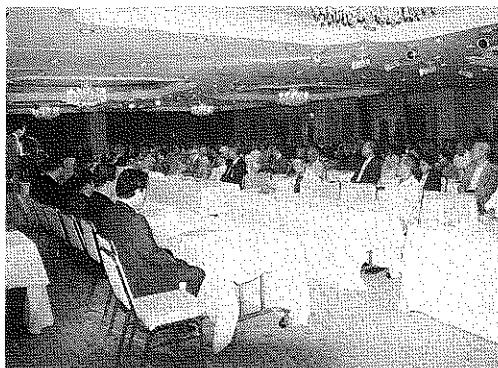
シルバー

ところざわ



No. 59

◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 1997 7月号



事業目標に向かって頑張りましょう。安全就業で災害0をめざそう……をスローガンとする平成九年度定期総会が、本年は市内晨籠苑を会場に好天に恵まれた五月二十七日（火）午後一時三十分より出席会員一九六名（他に委任状四四八名）並びに多数来賓の方々のご臨席をいたしました。

総会は伊藤副理事長の開会宣言、司会者名古屋係長より委任会場満員の会員と来賓の方々



高野理事長 開会の挨拶

状による委任を含めて定款第二十三条に定める総会成立の定足数に達している旨の報告がなされ開会となる。

はじめに高野理事長より、明

年は当センター創立二十周年を迎えるが、果たすべき役割が益々高まっていることの認識を一層深め、市各機関並びに事業

事としてご支援、ご活躍をいたしましております所沢市議会議員三氏を代表して高橋市議、並木衆議院議員秘書相川氏、埼玉県議会議員を代表して熊野県議、埼玉生きがい振興財團高橋理事長より、それぞれ激励のご祝辞

知識・経験・能力をより一層発揮され地域住民の期待に応え、今後市政の主要な柱として貢献願いたいとの挨拶を頂く。

全議案満場一致で可決



斎藤市長（顧問）の挨拶

主、多数市民の方々の更なるご理解、ご支援を頂きながら実績を高め、地域の活性化に寄与したい旨の挨拶。統いて当センター顧問斎藤市長より、本格的高齢者社会を迎える活力ある経済社会を守るために、会員各位の豊富な

を頂き、あと二通の祝電披露があり議事に入る。

議事は同じく司会者の司会により、先ず議長に岸 啓二会員を満場一致で選出、同じく大野ゆり子、松野秀男両会員を議事録署名人、五社重雄会員、事務局新井靖弘主任を書記に選出任



歓迎の挨拶を述べる高野理事長

さわやかな「五月晴れ」にあまり恵まれなかつた印象の今年の五月。そんな中、珍らしくさわやかに晴れ上がつた五月二十一日（木）、東京・北区シルバー人材センター成田会長はじめ、理事・職員総勢一十五名の役職員の方々がマイクロバスで視察に来訪されました。

東京・北区と言いますとご存知のとおり、下町と呼ばれた由緒ある地域で、当市とは全く趣

東京・北区シルバー人材センター
役・職員総勢二十五名で視察來訪!!

従つて、六十歳以上人口は、当市四九〇〇〇名で全人口比十三、二%に対し、北区では七七〇〇〇名で同比二十三、三%と相当高く、深刻な高齢化が想像されます。

そんな両センターの現況比較を念頭に、高野理事長・矢島専務及び山川次長他関係職員が列席、予め連絡を頂いていた定刻十時三十分到着の皆さんをセンター第一会議室に案内、矢島専務の司会で先ず、高野理事長から当市の特徴、センターの概要

きの異なる地域との印象を持つておりました。しかし、予め頂いた現況資料によりますと、現在は中小企業を中心とし、製造小売業が多くを占め、人口三十三万と、産業・人口面では当市と極めて近く、何か印象とは異なる親近感を深めました。ただ当市と多少異なる点は、高齢化。少子化という深刻現象の中、当市ではまだ年々多少人口増が見られますが、北区では年々減少しているとのことでした。

約の内容で、両センターの著しく異なる点、特に北区センターの受注契約では、その六〇%が公共関係依存と非常に高く、これに対し当センターの公共関係受注は二十五%と低く、民間関係受注が主体という相反する現況にありましたので、民間関係



内職作業所を熱心に見学

開拓について熱心な質問を頂いた点でした。

又、役員（理事二十三名）構成の中では女性理事が七名を占めているが未だ婦人部の結成がなく、当センター婦人部の家事援助サービス事業等に対する積極的取り組みその他が大いに参考になりました、と評価を頂くことができた点でした。

しかし、現在総体的事業実績・会員数等では、北区センターが当センターを大きく上回る数字を収め、今後参考とさせて頂く事が多々ありました。

会議室における以上質疑交流を終えたあと、当センター内、内職作業所を案内見聞して頂きましたが、作業中の会員に種々質問をされるなどその積極姿勢には感嘆させられました。

遠方からご来訪をいただきながら、参考に供せられた点は少なく、むしろ多くを学ばせて頂いたのは当センターの方にあつたように思われます。今後、事業の推進に当たつて反映・活用させて頂く所存です。

北区シルバー人材センターの今後益々の発展ご隆昌と成田会長はじめご来訪役職員皆様のご健勝・ご活躍を祈念申し上げながらお送りさせていただきまし

会議室における以上質疑交流を終えたあと、当センター内、内職作業所を案内見聞して頂きましたが、作業中の会員に種々質問をされるなどその積極姿勢には感嘆させられました。遠方からご来訪をいただきながら、参考に供せられた点は少なく、むしろ多くを学ばせて頂いたのは当センターの方にあつたように思われます。今後、事業の推進に当たつて反映・活用させて頂く所存です。

北区シルバー人材センターの今後益々の発展ご隆昌と成田会長はじめご来訪役職員皆様のご健勝・ご活躍を祈念申し上げながらお送りさせていただきます

「安全就業で地域に広がるシ
ルバー事業」を全国統一スローガンに展開される、「'97安全就業強化月間」を翌月に控えた六月十日(火)、当センター・安全委員会では長野委員長他全委員及び田中担当事務職員参加で、同運動に関する当センターの独

=会員安全就業推進委員会から=

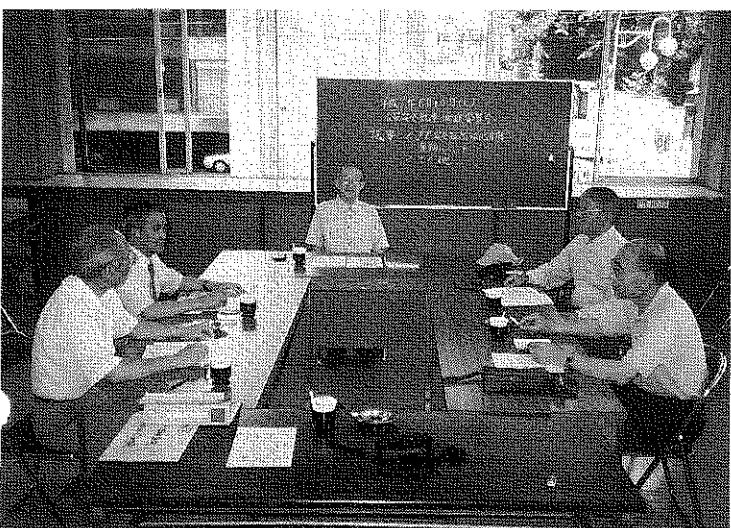
'97 安全就業強化月間

(自7月1日~至7月31日)

運動の展開に当たって安全委員会開催!!

自実施事項を協議、左記のとおり決定いたしました。
決定事項は、直ちに専務決済を得て、チラシ作製、五月分配分金、口座振込会員については現金受領会員については六月六月十二日振込み通知書に同封、現金受領会員については六月十三日の支払い日に、その他会員については六月十六日各地区正副委員長を通じ全会員洩れなく配布。決定事項の周知と参加並びに運動趣旨の徹底に万全を期しました。

この運動を通じまして全会員各位が就業に当たって一層注意力を旺盛にし、「私は絶対事故を起こさない」の自己啓発に努め、運動の目的である事故以前の「事故の不安を抱くような就業の皆無」の達成に向け、全センター組織一体となってその運動展開を願つたところです。(なお、この記事が会員皆さんの中に触れる頃は運動期間も既に半ば、再認識に供することとなりますが、再読の程お願いします。)



安全は

事故のもと

一寸の「油断」が

慣れた道

間中の行動について反省、全就業確保の一層の推進を図る。

四、「気をつけて」の一聲かけ運動の励行(用事等で出合い、別れの挨拶の最後に)。

(三ヶ島地区野田秀雄さん)

他人に頼るな
自分で守れ

(山口地区大坂秀吉さん)



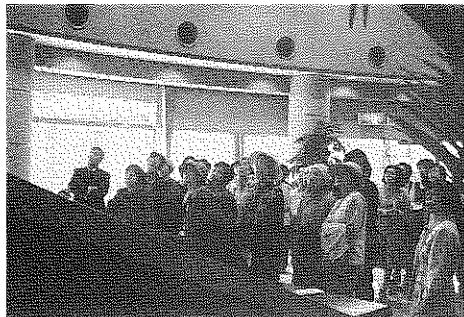
〔婦人部だより〕

“防災”日帰り研修旅行に参加!!

新所沢地区 五社 よしお

備えあれば 褒めなし

五月十三日、暑くもなく肌寒くもなく気持ちのよい五月晴れに恵まれ、今年度の婦人部研修旅行が行なわれました。行き先は県北の北足立郡吹上町及び行田方面。



説明に聞き入る会員皆さん



真剣に消火器の取扱い訓練



風速30米の風圧体験に耐える…



最後に「さきたま古墳」見学

す。すると矢島専務が「私は私も行くんだよ」との事でした。「専務が同行して下さるのは婦人部の旅行始まって以来なよ」とバスの中は喜びと安心が入り混じって、五月の風の様でした。

一時間少しで吹上町防災学習センターに到着しました。短い時間でしたが、職員の説明や展示室において地震の震度、台風の速度、火災の際の消火器の使い方等を体験しました。煙の部屋からの脱出体験では実際の地元お見送りに「おはようござります。こんなに多くの皆さんで送つて下さつて有難うございま

ります。お昼は、足袋御殿彩々亭にて舌鼓を打ち、もう一つの目的地『さきたま古墳』に参りました。市役所の阿部さんのガイドで「全部歩いたら大変」との事で古墳群の一部を見て歩きました。

今回の旅行は、地震の勉強から自分の故郷まで思い出させて頂き、とても楽しく意義ある一日でした。

震でも火災でもないので半ばゲーム感覚での脱出体験!! 地震の体験では落ち着いて天ぷら鍋のガスを止め、搖れる収まるのを待つことが出来ましたが、実際の地震だったら果たして落ち着いた行動が出来るだろうかと疑問と不安が心をよぎりました。

防災に関する冊子「絵で見る防災読本」や「わたしたちの防災」をいただき、今まで読んで何度も読み返すことで、いざという時少しでも役立つ事を願つて居ります。

さきたま資料館ではテレビニュースでしか見たことのない金錯銘鉄劍や埴輪、その他出土品を目のあたりにして、古代人の凄い力を感じました。

会員ひろば

△随筆▽ 趣味と生甲斐……子供心が今!!

富岡地区 梶畠 充

△雑感▽ 住んで都：

小手指地区 真中三郎



△歳七十余歳、遠くなつた私達の子供の頃。自分の手で遊び道具（竹とんぼ・竹馬・レゴマ等々）を造つて楽しく遊んだ記憶は、いまだ鮮明に童心に帰らせてくれる。“粘土いじり”もそんな遊びの中の一つ。いろいろな遊びの中からなんとなく民芸窯元特に郷土玩具、陶器に興味が走り各地の“おもちゃ”“陶器”の蒐集に熱中することとなる。

郷土玩具は寺社仏閣の祭りで売られ、特に興味をそそられたのは“土鈴”や手軽に持ち帰れる民芸窯元での“ぐい呑み”“湯呑み”など素朴な作品。

そうした窯元での焼物の魅力にひかれ、単に蒐集では飽き足らず、創作へと思いが走り、遂に停年退職と共に、小さな窯を買いたい求め、自分の持ち味で、ぐい呑み・湯呑み・一輪差しなど、

暇に飽かせて創作、作品に独り悦に入つて結構明るく楽しい日々を送る。そうした中、平成元年十月に当センターに入会、更に充実した日々が送れることとなりましたが、特に喜ばしいことに平成五年六月にはセンター内に、種々趣味や特技を持つ仲間会員の方々の“手作り作品”の展示即売コーナーが開設され、陳列ケースを設置していただき、市報などを通じ市民の方々にも紹介されたため訪れるお客様も徐々に増え、趣味の合ったお客様に見出され買い取つて頂く喜びは格別。

その喜びも最近は一層で、ひたすらセンターに感謝し、老後の生甲斐を味わっている今日この頃です。（孫達のしあわせを願いながら）

「住めば都」と言われるが、都心からこの地に移り住んで十一年目の都“野老（ところ）”。身近なところで、四季の花に逢えたり、近隣の方々とのちょっとした挨拶にも、心暖まるものが感じられ、住めば都ではなく本当に移り住んでよかったです。本心思つている。

梅、橘、躑躅、百日紅、金木犀、山茶花など途切れなく、何處かのお宅で見掛けられるのは、処かの花で見掛けられるのは、多少儂さを感じさせられる。

浅緑の葉の中に深いオレンジ色の花が競い合うように次々と咲く石榴は、紫陽花と共に梅雨のうつとうしさを忘れさせてくれる。

手入れの行き届いた庭を垣根越しに観賞するのも風情があり、時にその家のご主人から大切に育てた一枝を頂くこともあります。ほのぼのと心の暖かさに浸る。東川沿いや、学童の通学路傍には、季節の花々が近くの方々

の丹精で咲かされ、その花を守るために、時折汗して除草作業に忙しまれる姿を目の当たりにした時は頭の下がる思い。

新旧居住者の入り混じった当地ですが、自動車や自転車で行き交う際も、譲り合いの心が根付いてきて、道を譲り合う時も「恐れ入ります」「有難う」などの言葉が交わされるのを目にして耳にして心なごませられる。

移り住んだ十年前に比べると開発も大分進んできたが、まだ麦秋あり、緑の茶畑あり、昔ながらの小さな森も点在、小鳥たちが飛び交い、時には郭公の鳴き声を耳にするなど四季それを楽しませてくれる。この町に馴染んで、厳しいこれから高齢社会をシルバーと共に健康で長生きしそう。



△丹精で咲かされ、その花を守るために、時折汗して除草作業に忙しまれる姿を目の当たりにした時は頭の下がる思い。

新旧居住者の入り混じった当地ですが、自動車や自転車で行き交う際も、譲り合いの心が根付いてきて、道を譲り合う時も「恐れ入ります」「有難う」などの言葉が交わされるのを目にして耳にして心なごませられる。

移り住んだ十年前に比べると開発も大分進んできたが、まだ麦秋あり、緑の茶畑あり、昔ながらの小さな森も点在、小鳥たちが飛び交い、時には郭公の鳴き声を耳にするなど四季それを楽しませてくれる。この町に馴染んで、厳しいこれから高齢社会をシルバーと共に健康で長生きしそう。



◎ 俳句
十句

吾妻地区 澄江 梯次

II 頭の健康テスト

柿若葉日和り静けし鶏の声

ものの茅に匂友走り書く里の山

老鳶の励まされつつ鎌使う

髪刈りてむずかる孫の鯉のぼり

風狂ひ見守るばかり朴の花

花水木並木天国露店街

おほでまり床し丸木の朽し門

◎ 短歌

雨に濡れ桜の花の又美しく傘やブーツや心も軽く
巡り逢う友と散歩に満ち足りて夕膳に一人今日の幸せ
フラワー オークみかさの里に桃の花雲なき空に富士の

松井地区 三村 紬代
一ツや心も軽く
暗に一人今日の幸せ
化雲なき空に富士の輝き
二ヶ島地区 滝沢 マサ

ゆくりなき出会いに過ぎし日語りつつ離陸待ちおり夜の空港
隣席の小女が抱える黄水仙ほのかに匂う朝の車内に
丈高き紅葉葵の花見つつ苗持ちくれし亡き友偲ぶ

うす日さすコスモス咲ける
遠く来て花手向けつつ思いをり幸うすかりし義姉の一生



人は年齢を重ねる程に、脚と頭から枯れてくると言われます。脚の疲れは、毎日一万歩をめどに歩くことで老化防止効果充分とのことです。

「かなひろい」テスト。文の意味を読みとりながら、同時に「あいうえお」を拾い上げてマ
ルを付ける……制限時間一分

年齢を重ねると、一度にたくさん仕事は苦手となり、どれかを忘れたりしやすい。

市の県西部医療センター副院長
で脳外科医の金子先生が考案され
たのが下記「かなひろい」テ
スト。

百三十を越す自治体や保健所・施設に普及。テストの結果「さびつき」は早期段階ならこのテストで回復可能との判断がなされています。気軽にテストで先ず安心を。

(朝日新聞「現在養生訓」記事
より転記)

ところが、あるばん、おはあさんが、いつものようににこにこしながら、いそいそとうちへ、かえるとちゅう、みちばたのみぞのなかに、くろいおきなつぼをみつけました。

(六十歳代十個以上、七十歳代九個以上、八十歳代八個以上のマルで合格)

お知らせ

行を左記のとおり実施いたしま
す。奮ってご参加下さい。

り募集いたします。奮ってご応募下さい。

ねむかわ

◎平成九年度会員名簿記入漏れ

について
会員名簿松井地区へ左記会員
名を追加ご記入下さい。

会員番号	一一四〇	池田年男	氏名
住 所			性別
下安松五九〇	四四一七八〇九	電話番号	年齢

なお、所沢地区、会員番号六
一七 佐藤善一さんの電話番号を
三九一三四四〇に訂正して下
さい。

新入職員紹介

会員皆様のお役に立てるよう
頑張ります!!



業務係

伊藤記觀惠

この度、七月一日付で業務係として採用して頂きました伊藤記観恵と申します。

行を左記のとおり実施いたします。奮ってご参加下さい。

(一) 期日 平成九年九月二十九日(月)
～三十日(火)一泊二日

(二) 行先 黒部アルペンルート、黒部ダムと信州飯田元善光寺

(三) 会費 一人一八、〇〇〇円(分割可)
なお、定員になり次第締切り
ますので、お早目にお申込み下
さい。

◎創立二十周年記念行事実行委
員の募集について

平成十年度に迎える当センター
創立二十周年を記念するイベン
ト、記念誌編集等の企画・立案
にご参加下さる会員を左記によ
ります。

方々にご迷惑をおかけしている
状態ですが、一日も早く自分の
仕事を最後まで責任をもつてこ
なせるようになれたら、と思っ
ています。

また、会員皆様のご指導も頂
けたらとてもうれしいことと思
っています。そして早く私の顔
を覚えて頂けますよう努力し、
皆様のお役に立てるよう頑張っ
て参りたいと思います。

何卒宜しくお願ひ申し上げま
す。

◎創立二十周年記念行事実行委員の募集について

平成十年度に迎える「センター創立二十周年」を記念するイベント、記念誌編集等の企画・立案にご参加下さる会員を左記によ

方々にご迷惑をおかけしている
状態ですが、一日も早く自分の

仕事を最後まで責任をもってこなせるようになれたら、と思つています。

また、会員皆様のご指導も頂けたらとてもうれしいことと思っています。そして早く私の顔を覚えて頂けますよう努力し、皆様のお役に立てるよう頑張って参りたいと思います。

募下さい。

(一) 募集人員 若干名(希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。)

(二) 期 間 平成九年八月一日(記念行事終了まで)

(三) 費用弁償 センター規程による

(四) 応募締切 平成九年七月三十一日

(五) 応募受付場所 センター事務局(電話八一八六九五)

◎総会記念品の受領について
去る五月二十七日開催の総会資料等につきましては、地区委員さんに配布頂いたところですが、記念品につきましては「割れ物」のため、お手数ながら整理の都合上、九月三十日までに各自センターにお出掛けお受け取り下さい。

◎○寄付のお願い!!
婦人部では市民フェスティバルに向け、ブローチなど小物入れ作りを決定しました。
つきましては頂き物で眠っている「女性用柄物、綿ハンカチ」がございましたら、男女会員を問わず、事務局齊藤まで持参、ご寄付下さい。

あとがき

59号をお届けします。今度もお知らせしたい事や記事が山ほどあるのを限られた紙面に何とか詰め込んで出稿完了、お手元に届く頃は力ラップと梅雨も上がっているでしよう。

今年も多くの会員がお入りになりました。すでに適職を得て就業している方も、またご不満のまま過ごされている方もおられましょう。前歴や経験も違い、また老人なですから体力も能率も差があるのはやむを得ない事ですし、仕事の上でも元気な方がカバーしなければならない事もあります。

シルバーは皆で仕事をみつけ、皆で働き、皆で会を運営してゆくのが目標ですから、和が何より大切です。何とかこの会誌がこの様々ないろいろな会員の心のつながりに役立てばと願うばかりです。

次回は本誌も60歳、新たな気持ちで頑張ります。ご意見・ご要望、近況通信、俳句・短歌・川柳などどんどんご投稿下さい。